

小 売 業 54 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

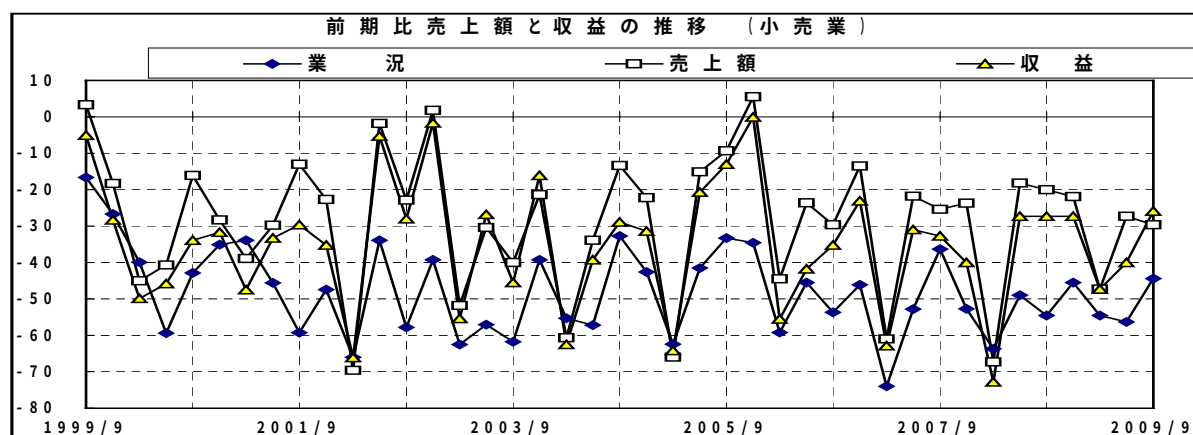
□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-54.6	-56.3	-44.4	-44.5
売上額	-47.3	-27.3	-29.6	-22.1
収益	-47.3	-40.0	-25.9	-24.0

今期の業況判断DI値は△44.4と、前期比改善しマイナス値が11.9ポイント縮小した。地区別にみると、浦河、三石、様似地区が改善し、広尾地区が横ばい、静内、えりも地区で悪化している。

売上額、収益判断DI値は、前期比売上額が△29.6と、マイナス値が拡大し2.3ポイント

低下した一方、収益は△25.9と、マイナス値が縮小し14.1ポイント上昇した。

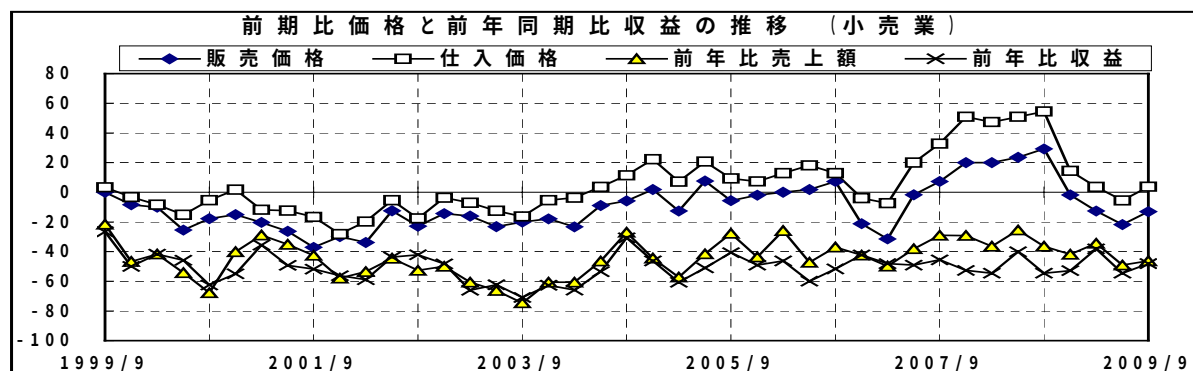


□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
販売価格	-12.7	-21.8	-13.0	3.7
仕入価格	3.6	-5.5	3.7	11.1

販売価格判断DI値(△13.0)は、前期比マイナス値が縮小し8.8ポイント上昇、価格低下基調を弱めている。一方、仕入価格判断DI値(3.7)は、前期比マイナスからプラス値に転じ9.2ポイント上昇、価格上昇基調を強めている。

業種別にみると、衣料品、食料品が販売、仕入価格ともに上昇、家電品が販売価格で上昇、仕入価格で低下している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-16.4	-10.9	-7.4	-5.6
人手状況	3.6	7.3	1.8	-1.9

残業時間判断DI値は△7.4と、残業時間が減少したとする企業割合が減り、前期比3.5ポイント上昇した。

人手過不足判断DI値は1.8と、前期比プラス値が縮小し5.5ポイント低下、人手過剰感を弱めている。

□ 設備投資の動き

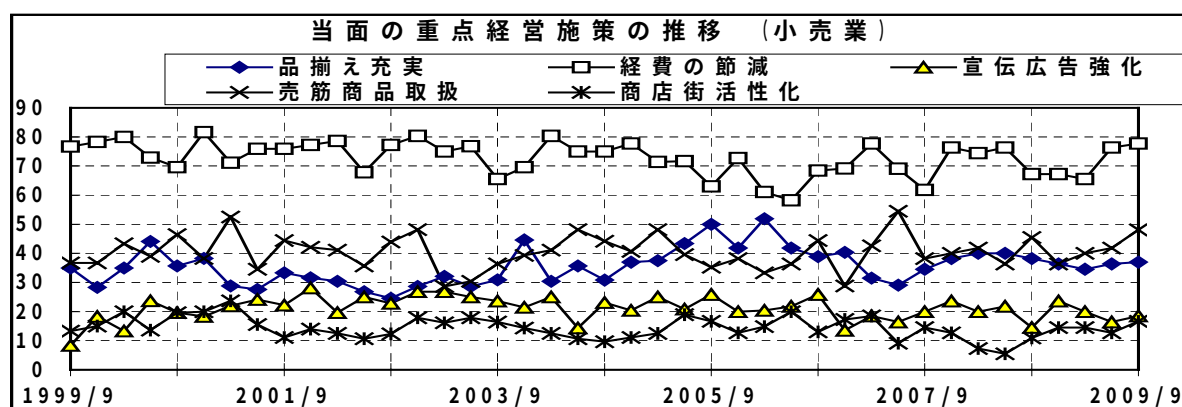
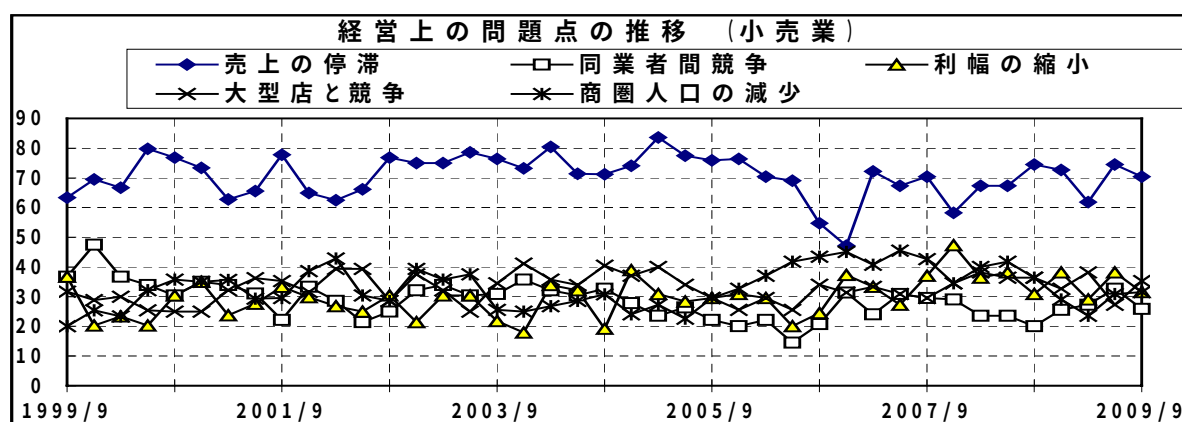
設備投資の充足感を示すD I 値は△14.8 と、前期（△7.2）からマイナス値が拡大し 7.6 ポイント低下、不足感が強まり適正と回答した企業も 77.8%と、前期(81.8%)から 4.0 ポイント低下した。

設備投資実施企業割合は 13.0%と、前期（9.1%）比 3.9 ポイント上昇し、件数で前期の 5 社に対し 7 社の実施となった。また、来期予定では当期比 5 社減の 2 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ 70.4%、次いで「大型店との競合」35.2%、「利幅の縮小」、「商圈人口の減少」31.5%、「同業者間との競合」25.9%の順に続き、前期との比較では「大型店との競合」と回答する企業が多くなっている。業種別にみると、衣料品、食料品が「売上の停滞」、家電品が「利幅の縮小」をトップに挙げている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 77.8%、次いで「売れ筋商品取扱」48.1%、「品揃えの充実」37.0%、「宣伝広告の強化」18.5%の順となっている。業種別にみると、衣料品、食料品、家電品ともに「経費の節減」をトップに挙げている。



□ 来期の見通し

来期（平成 21 年 10～12 月期）の予想業況判断 D I 値は△44.5 と、今期（△44.4）実績比 0.1 ポイント低下しほぼ横ばいの見通しとなっている。

予想売上額、予想収益判断 D I 値は、今期実績比売上額が△22.1（今期△29.6）、収益が△24.0（今期△25.9）と、それぞれマイナス値が縮小し 7.5、1.9 ポイントの上昇見通しとなっている。

予想販売、予想仕入価格判断 D I 値は、今期実績比販売価格が 3.7（今期△13.0）と、マイナスからプラス値に転じ、仕入価格が 11.1（今期 3.7）と、プラス値が拡大し、それぞれ 16.7、7.4 ポイント上昇、価格上昇基調が強まる見通しとなっている。

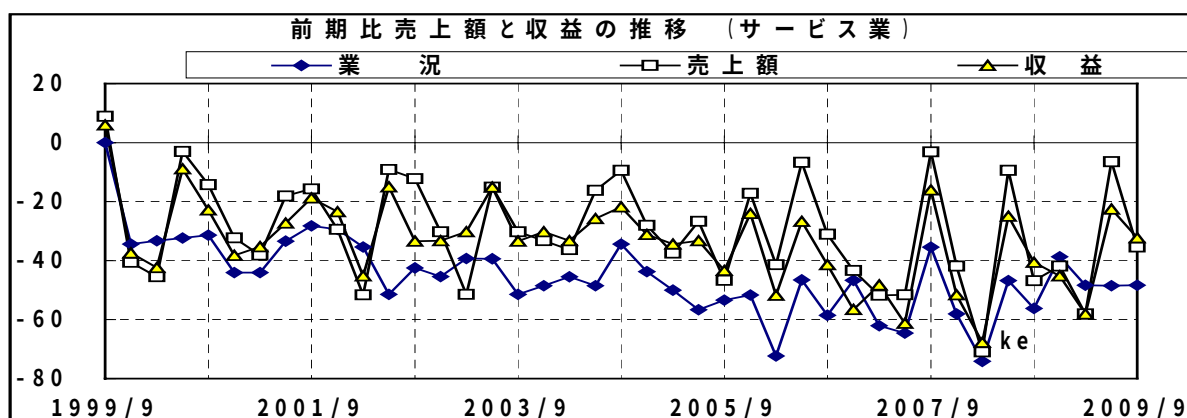
サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-48.4	-48.5	-48.4	-54.9
売上額	-58.1	-6.5	-35.5	-51.7
収 益	-58.1	-22.6	-32.3	-48.4

今期の業況判断DI値は△48.4 と、前期比 0.1 ポイントの極僅かな改善で、前々期からほぼ横ばいのマイナス値は 5 業種中最も低い水準となった。地区別にみると、様似、広尾地区が改善し、えりも地区が横ばい、浦河、静内、三石地区で悪化している。

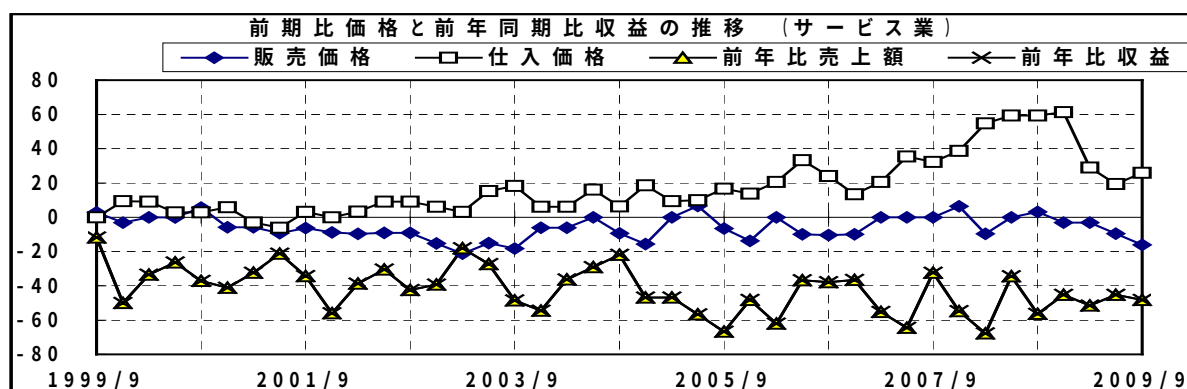
売上額、収益判断DI値は、前期比売上額が△35.5、収益が△32.3 と、それぞれマイナス値が拡大し 29.0、9.7 ポイント低下した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
料金価格	-3.2	-9.6	-16.1	-6.4
材料価格	29.0	19.3	25.9	9.7

料金価格判断DI値(△16.1)は、前期比マイナス値が拡大し 6.5 ポイント低下、価格低下基調を強めている。一方、材料価格判断DI値(25.9)は、前期比プラス値が拡大し 6.6 ポイント上昇、価格上昇基調を強めている。業種別にみると、価格は旅館が料金で低下、材料で横ばい、洗濯・理美容が料金で上昇、材料で低下、自動車整備が料金で低下、材料で上昇している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-19.4	-16.1	-12.9	-12.9
人手状況	9.6	9.7	9.6	3.2

残業時間判断DI値は△12.9 と、残業時間が減少したとする企業割合が減り、前期比 3.2 ポイント上昇した。

人手過不足判断DI値は 9.6 と、前期比 0.1 ポイントの極僅かなプラス値縮小で、前々期からほぼ横ばいの人手過剰感となった。

□ 設備投資の動き

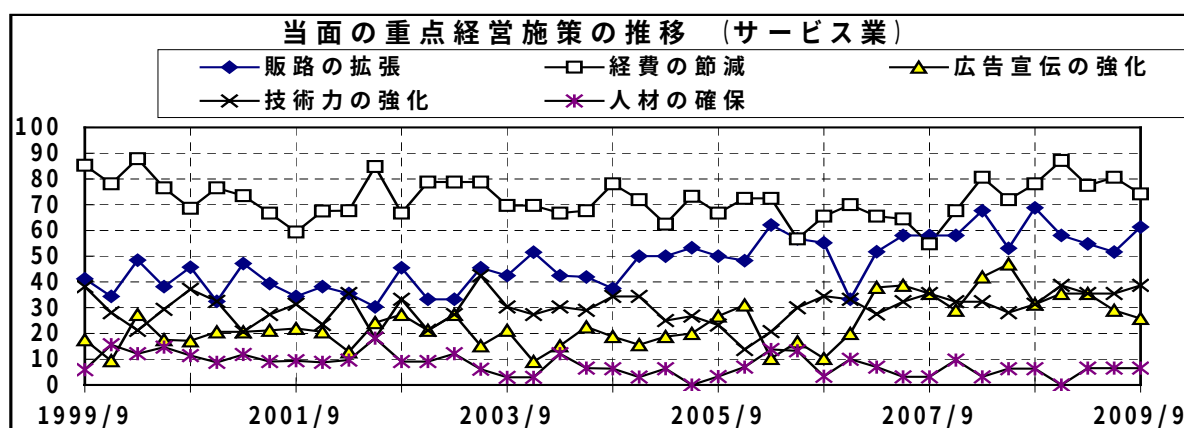
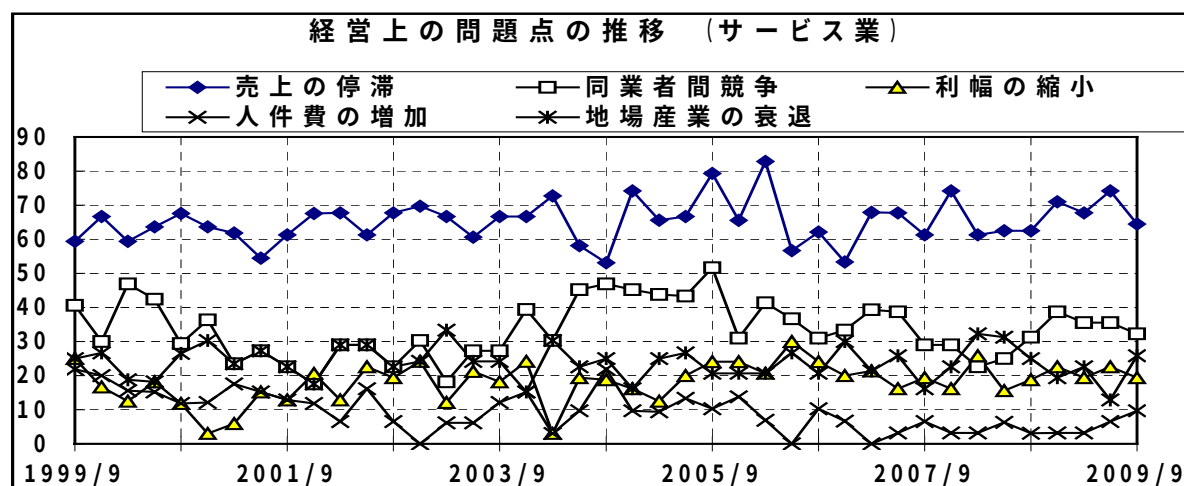
設備投資の充足感を示すD I 値は△12.9 と、前期（△16.1）からマイナス値が縮小し 3.2 ポイント上昇、不足感が弱まり適正と回答した企業も 74.3%と、前期（64.5%）から 9.8 ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は 22.6%と、前期（12.9%）比 9.7 ポイント上昇し、件数で前期の 4 社に対し 7 社の実施となった。また、来期予定では当期比 1 社減の 6 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ 64.5%、次いで「商圈人口の減少」38.7%、「同業者間との競合」32.3%、「地場産業の衰退」25.8%の順に続き、前期との比較では「地場産業の衰退」と回答する企業が多くなっている。業種別にみると、旅館が「売上の停滞」、「同業者間との競合」、洗濯・理美容、自動車整備が「売上の停滞」をトップに挙げている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 74.2%、次いで「販路を広げる」61.3%、「技術力を強化する」38.7%、「宣伝広告の強化」25.8%の順となっている。業種別にみると、旅館、洗濯・理美容が「経費の節減」、自動車整備が「経費の節減」、「販路を広げる」をトップに挙げている。



□ 来期の見通し

来期（平成 21 年 10～12 月期）の予想業況判断D I 値は△54.9 と、今期（△48.4）実績比 6.5 ポイントの悪化見通しとなっている。

予想売上額、予想収益判断D I 値は、今期実績比売上額が△51.7(今期△35.5)、収益が△48.4(今期△32.3)と、それぞれマイナス値が拡大し 16.2、16.1 ポイントの低下見通しとなっている。

予想料金、予想材料価格判断D I 値は、今期実績比料金価格が△6.4(今期△16.1)と、マイナス値が縮小し 9.7 ポイント上昇、価格低下基調が弱まる一方、材料価格は 9.7(今期 25.9)と、プラス値が縮小し 16.2 ポイント低下、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。